



# SDGs推進プロジェクト『あゆみ』レポート 2021



SDGs推進プロジェクト  
あゆみ

～地域のために 未来のために～

2022年3月期

# SDGs推進プロジェクト『あゆみ』レポート 2021 発行にあたり

## ～ 地域のために 未来のために ～

- ・ 筑波銀行は、東日本大震災以降、地域復興・地域振興支援プロジェクト『あゆみ』の活動を通じ、地域経済や地域社会の面的な復興および振興に取り組んでまいりました。
- ・ 2019年4月に、それまでの経験を活かしコーポレートスローガン『地域のために 未来のために』の実現に向け、国連が定めた「持続可能な開発目標（SDGs）」の趣旨に賛同し、「筑波銀行SDGs宣言」を制定しております。
- ・ 2021年度は新型コロナウイルス感染症長期化の影響により、地域経済、企業活動、人々の暮らしなど、社会全体に大きな影響や変化がありました。
- ・ 筑波銀行は引き続き地域社会の様々な課題に対し、長期的な視点でソリューションを提案し、お客さまと従業員の共通価値の創造につなげ、「サステナブル経営」への転換に取り組んでまいります。
- ・ 2021年度の活動をSDGs推進プロジェクト『あゆみ』レポート 2021にまとめましたので、当行の取り組みを是非ご覧ください。



2022年6月

頭取 生田 雅彦

# 目次

I. 筑波銀行SDGs推進プロジェクト「あゆみ」の取り組みについて	
筑波銀行SDGs 宣言	
SDGs推進プロジェクト『あゆみ』概要	..... P. 3
II. SDGs推進プロジェクト「あゆみ」2021年度の活動状況について	..... P. 4
1. 地域経済の持続的な発展に向けて	
1.1 サステナブルな地域経済の実現	..... P. 6
1.2 地域イノベーションの創造	..... P. 7
2. 持続可能な地球環境の実現に向けて	
2.1 地球環境に配慮した行動	..... P. 9
2.2 ESG金融の推進拡大（環境関連）	..... P. 12
3. 地域に暮らす人々の豊かな社会の実現に向けて	
3.1 地方創生の更なる推進	..... P. 14
3.2 CSRの取り組み	..... P. 18
3.3 明るく働きがいのある職場環境の向上	..... P. 20
3.4 ESG金融の推進拡大（ソーシャル関連）	..... P. 22
4. 責任ある事業の推進に向けて	
4.1 コンプライアンスの徹底	
4.2 持続的成長に向けたガバナンス体制	..... P. 24
III. 次期「SDGs推進プロジェクト「あゆみ」」の取り組みについて	
第5次中期経営計画における筑波銀行SDGs宣言の位置づけ	..... P. 25
SDGs推進プロジェクト『あゆみ』2022年度の取り組みについて	... P. 26



# I. 筑波銀行SDGs推進プロジェクト『あゆみ』の取り組みについて

## 筑波銀行SDGs宣言 ～地域のために 未来のために～

当行は、国際連合が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」の趣旨に賛同し、コーポレートスローガン「**地域のために 未来のために**」、持続的で多様性と包括性のある社会の実現に向けて、地域になくてはならない銀行として、地域社会の持続的発展に貢献していく活動を行うことを宣言します。

### 4つのテーマ

- ① 地域経済の持続的な発展に向けて
- ② 持続可能な地球環境の実現に向けて
- ③ 地域に暮らす人々の豊かな社会の実現に向けて
- ④ 責任ある事業の推進に向けて

### SDGs推進プロジェクト『あゆみ』策定

#### ① 名称

SDGs推進プロジェクト『あゆみ』  
～地域のために 未来のために～



SDGs推進プロジェクト

あゆみ

#### ② 計画期間

2019年4月 ～ 2022年3月 (3年間)

#### ③ 基本方針

- ・ 2019年4月、コーポレートスローガン「**地域のために 未来のために**」の実現に向け、国際連合が提唱する「**持続可能な開発目標 (SDGs)**」の趣旨に賛同し、「**筑波銀行SDGs宣言**」を制定しました。
- ・ SDGsの目指す「**持続的で多様性と包括性のある社会**」の実現に向け、地域振興支援プロジェクト『あゆみ』をSDGs推進プロジェクト『あゆみ』にリニューアルし、社会的課題の解決のための施策を展開し、当行を含む地域社会の持続的成長を目指してまいります。

## II. SDGs推進プロジェクト『あゆみ』2021年度の活動状況について

### 社会情勢の変化に対応するため

- 「筑波銀行SDGs宣言」は2019年4月に策定・宣言し2年が経過しました。その間、SDGsへの取り組みに対する社会情勢は加速度的に変化しております。当行もこの変化をプラスに捉え、2021年4月にSDGs推進プロジェクト『あゆみ』推進策を変更し、積極的に対応してまいりました。
- SDGsの推進については、地域に根差した当行にとって重要な取り組みであることから、SDGs推進委員会の委員長には頭取が就任し、ガバナンスを強化しております。

### 2021年度SDGs推進プロジェクト『あゆみ』の取り組み



# 1. 地域経済の持続的な発展に向けて

私たちは、保有する多様なネットワーク、金融仲介機能を発揮して、お客さまや地域の課題の解決を通じて、地域経済の持続的な発展に貢献します。

- 1.1 サステナブルな地域経済の実現
- 1.2 地域イノベーションの創造 ※1

※1 地域イノベーションの創造…地域を支えることが期待されるベンチャー企業などの創業支援を行うこと

8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



# サステナブルな地域経済の実現

## ～SDGs支援サービスの開始～

### ①SDGs支援サービス

#### ・SDGs支援サービスの目的

SDGsへの関心が高まる中、大企業を中心に動き出したSDGsへの取り組みが拡大しており、地域社会においてもSDGsへの取り組みが求められております。地域金融機関として地元中小企業支援の観点から、SDGsの普及や取り組み支援等を目的としてSDGs支援サービスの取扱いを開始いたしました。

#### ・導入メニュー

### SDGs診断

貴社のSDGsへの取組状況についてヒアリングによる現状評価を行い、その内容をフィードバックシートにて還元いたします。

### 「SDGs宣言書」作成支援

SDGs診断結果をもとに、今後のSDGsへの取組方針を社内外に公表する「SDGs宣言書」の作成をご支援いたします。

### ご留意事項

本サービスは、お客さまの申告に基づき行う簡易評価です。申告内容についてエビデンスを求めるものではなく、いわゆるSDGs取組の公的な認証を行うものではありません。



## SDGs宣言書

当社は、経営理念に『人と環境にやさしい経営』を掲げ、全社一丸となって製品品質の向上に努めてまいりました。今般、国連が定めた「持続可能な開発目標（SDGs）」の趣旨に賛同し、当社の事業を通じて持続可能な社会の実現を目指して、下記の取り組みを実施していくことを宣言します。

**宣言日**

**2022年2月15日**

**宣言者**

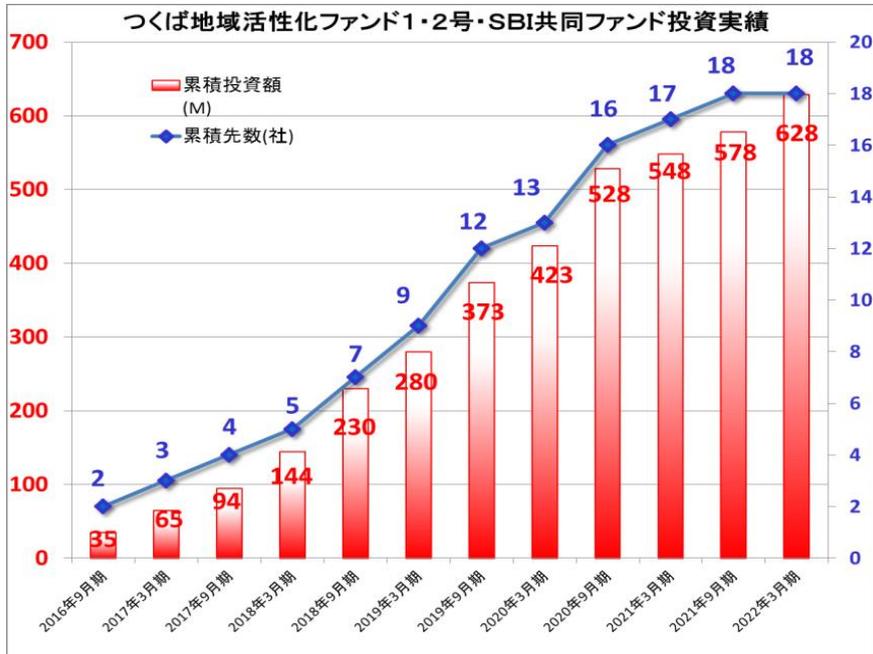
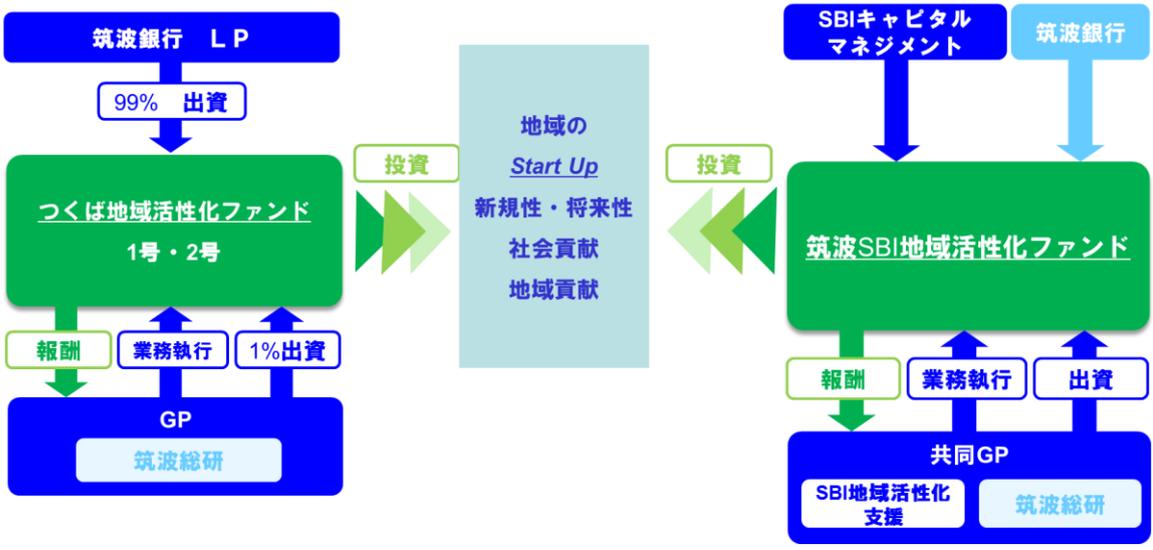
**株式会社〇〇工業  
代表取締役 〇〇〇**

重点的な取組テーマ	取組内容	関連するゴール
廃棄物・有害物質の削減	環境に配慮した生産設備の導入により、廃棄物の適正処理や削減、CO2排出削減等。取組、事業時活動による環境負荷の軽減に努めてまいります。	12 13
労働環境の整備	残業削減、健康経営の導入、公正な人事評価制度の制定を行い、従業員が健康でやりがいを持って働く環境を整備します。	8 9
社会課題を解決する製品・サービスの提供	当社の製品「●」の品質向上やラインナップ拡大により、すべての人々に健康で豊かな生活を提供できるように努めてまいります。	3 8 9

# 地域イノベーションの創造 ～ベンチャー企業育成への取り組み～

## ①新産業育成に向けたベンチャー企業育成支援の取り組み強化

・ 当行は地域経済への貢献が期待されるベンチャー企業の育成支援に積極的に取り組んでおり、『つくば地域活性化ファンド』『つくば地域活性化2号ファンド』『筑波SBI地域活性化ファンド』の3本のファンドを設立しております。



## 2. 持続可能な地球環境の実現に向けて

私たちは、環境にやさしい事業運営や再生可能エネルギー利用の促進等の活動を通じて、持続可能な地球環境の実現に貢献します。

### 2.1 地球環境に配慮した行動

### 2.2 ESG金融の推進拡大（環境関連）

世界ではさまざまな自然災害が増えており、その原因のひとつには地球温暖化が関係していると言われています。

地球温暖化は二酸化炭素の増加が主な原因です。再生可能エネルギーへの積極的なサポート、環境保全活動、環境負荷低減に向けて取り組んでいます。



## 地球環境に配慮した行動

### ～TCFD提言賛同表明～

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに13 気候変動に  
具体的な対策を14 海の豊かさを  
守ろう15 陸の豊かさも  
守ろう

気候変動が地域のお客さまや当行に与えるリスクを想定しながら、脱炭素化に向けた対応を積極的に進めるため、2021年8月にTCFD提言への賛同を表明し、継続した情報開示の充実に努めております。

#### ①ガバナンス

- ・頭取を委員長とするSDGs推進委員会を3か月毎に開催し、気候変動を含む環境・社会・ガバナンス等のSDGs推進施策の検討および協議を行い、その内容を取締役に報告しております。

#### ②戦略

##### <機会>

- ・持続可能な社会への貢献がますます求められるなか、気候変動関連ビジネスの市場規模拡大が期待されます。当行は、お客さまの低炭素社会への移行をファイナンスの側面だけでなく、ビジネスマッチングの側面においても積極的に支援し、環境負荷低減に貢献してまいります。

##### <リスク>

- ・気候変動リスクとして、【移行リスク】と【物理的リスク】を認識しています。

##### <炭素関連資産>

- ・当行の与信残高に占める炭素関連資産（電力、ガス、エネルギー等）の割合は1.02%（2021年3月末）であり、炭素関連資産については影響の分析に努めてまいります。

#### ③リスク管理

- ・環境や社会課題解決に向けたお客さまの取り組みを積極的に支援するとともに、環境や社会に大きな影響を与える可能性がある事業者への投融資に関する取り組み方針を定め、取り組み方針に基づいた投融資を実施してまいります。



# 地球環境に配慮した行動

～TCFD提言賛同表明～

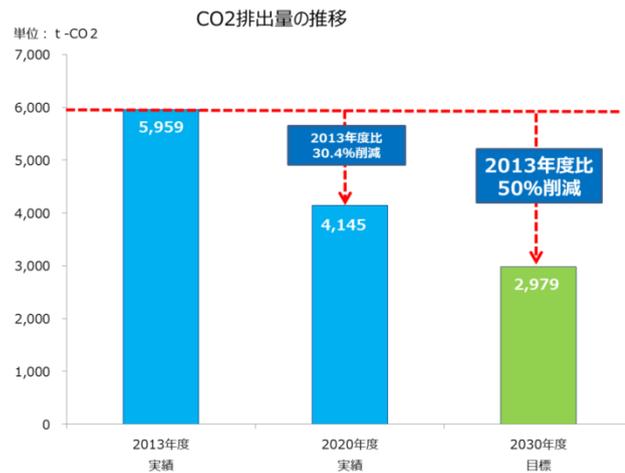


## ④指標と目標

### <CO2排出量削減目標>

2013年度のScope1・2のCO2排出量を基準として、2030年度のCO2排出量削減目標を▲50%といたします。

2020年度のCO2排出量は2013年度比30.4%削減しています。



【単位：t-CO2】

	2013年度実績	2020年度実績	2030年度目標
CO2排出量	5,959	4,145	2,979
(内スコープ1)	1,608	823	
(内スコープ2)	4,351	3,322	
CO2排出量削減率		30.4%	50.0%

※当行におけるCO2排出量については以下の指標を計測していきます  
 スコープ1（直接排出）…ガソリン・重油・灯油・都市ガス・LPG等  
 スコープ2（間接的排出）…電気

### <サステナブルファイナンス実行目標額>

目標額	サステナブルファイナンス実行目標額 3,000億円
対象となる期間	2022年4月～2031年3月（9年間）
対象	持続可能な社会の実現に向けたお客さまのESG（環境・社会・ガバナンス）、SDGsへの取り組みを支援するための投融資といたします。

### <対象商品>

環境分野	グリーンローン・ボンド、再生可能エネルギーに関する投融資等
社会分野	SDGs 私募債、社会課題に対応した投融資等
その他	※SDGs 宣言アシストローン等

※お客さまのSDGsへの取り組みを支援する融資

# 地球環境に配慮した行動



## ～ボランティアを通じた環境保全への取り組み～

### ① 森林保全への取り組み

- ・当行は美しい健全な森林を次世代へ引き継いでいくために毎年、新入行員と頭取ならびに役員による記念植樹や下草刈りを「筑波銀行あゆみの森」六斗において実施するなど、森林保全活動に取り組んでおります。



新入行員による記念植樹

≪「筑波銀行あゆみの森」つくば市≫

取り組み実績  
〔累計植樹本数〕

505本  
(2012～2022)



# ESG金融の推進拡大（環境関連）

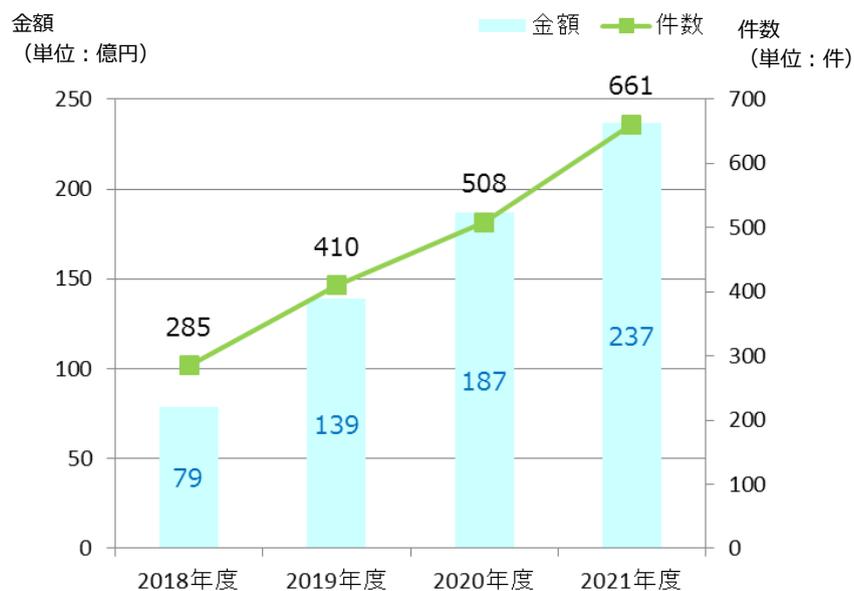
～環境事業への積極的なサポート～



## ①再生可能エネルギー事業へのファイナンスの取り組み強化

- ・ 当行は再生可能エネルギーの活用をはじめとした低炭素社会の実現と脱炭素社会への移行に向け、環境配慮型設備への融資を通じた、気候変動対策に資する企業やプロジェクトへの資金支援を積極的に実施しております。

再生可能エネルギー関連融資の推移



※金額・件数ともに2018年3月以降の累計



## ESG金融の推進拡大（環境関連）

### ～環境分野への取り組みを勧奨した投資体制～



#### ②サステナビリティボンド・グリーンボンドへの投資

- ・当行はグリーンボンドへの投資を通じて社会貢献活動に積極的に取り組む企業や個人のお客さまの支援を図るとともに、地域社会の持続的な発展に向けて貢献しております。



#### <投資先>

- ・2020年6月 東京地下鉄
- ・2020年8月他 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

その他自治体発行のグリーンボンドにも投資しております

- ・2020年10月他 東京都（グリーンボンド）

# 3. 地域に暮らす人々の豊かな社会の実現に向けて

私たちは、地域社会における課題や要請に耳を傾け、事業活動を通じてその解決を支援し、豊かな地域社会の実現に貢献します。

- 3.1 地方創生の更なる推進
- 3.2 CSRの取り組み
- 3.3 明るく働きがいのある職場環境の向上
- 3.4 ESG金融の推進拡大（ソーシャル関連）

地域社会が持続していくためには、そこに住むすべての人々が、豊かに暮らしていくことが重要です。金融教育、経営人材の育成やスポーツ・文化事業への協力、ダイバーシティ（※1）に対して積極的に取り組んでいます。また住み続けられるまちづくりに向けた取り組みとして、自治体と連携して観光資源の発掘にも協力しています。

（※1）ダイバーシティ…性別、人種、国籍、宗教等の多様性を活かしていく取り組み





## ① 地域活性化DMO推進事業への協力

- ・ 当行はかすみがうら市と連携し、地域活性化DMO（※）『かすみがうら未来づくりカンパニー』に出資し、その運営を継続して支援しています。サイクリング事業を核とし、地域商社機能を含めた様々な事業を展開しており、ECサイトの支援、商品のブラッシュアップ支援等を実施しています。

（※）DMOとは…地域にある観光資源（食・自然、歴史、文化等）に精通し、観光地のPR、マーケティング、商品開発の活動を通じて観光地の魅力を高め、地域経済の活性化を目的とした法人

- ・ また地域に眠る貴重な資産である古民家を地域拠点として活用するため、茨城県ブランド向上事業における古民家改修第1号物件として、2020年7月に「ゲストハウス古民家江口屋」を協働でオープンしました。



地産地消のレストラン



サイクリング事業



古民家活用事業



# 地方創生の更なる推進

## ～地域資源ブランディングへの取り組み～

11 住み続けられるまちづくりを



### ② 地域資源のブランディング化支援の取り組み強化

〔地方自治体と連携した地域の優れた製品選定支援〕

- ・ 当行と地域振興協定を締結している2自治体において、観光振興や地域魅力発信のため、地域の優れた産品を市の推奨品として選定し、その事業に協力しております。



「さくら川百貨」  
令和3年度選定品カタログ



ブラッシュアップ  
セミナーチラシ

#### <桜川市>

- ・ 2019年から当行役員が「さくら川百貨選定審査委員会」の委員長に就任し、地域の産品の中から「さくら川百貨」を選定しています。2021年度は選定に協力すると共に、ブラッシュアップ事業を関連会社の筑波総研が受託しました。銀行と連携して対応しており、セミナー・相談会を計7回実施しております。

#### <石岡市>

- ・ 2020年から当行役員が「石岡セレクト運営委員」を委嘱され、地域の産品の中から「石岡セレクト認証品」を選定しています。直近では2021年11月に選定委員会が開催され、20事業者24品目が選定されました。



石岡セレクト認証品カタログ



### ③自治体と連携したまちづくりに向けた取り組み

#### <北茨城市>

- ・北茨城市との連携については、観光振興によるまちおこしを推進すべく、「北茨城市観光振興協議会」を設立し、当行役員が会長職を委嘱され、同市の観光を活用した地域の活性化に取り組んでまいりました。
- ・市内の飲食店や宿泊施設と協働で、市の食資源を活用したメニュー開発を行いました。
- ・令和3年度に開発したメニューについて協議を行い、北茨城市の食を活かした新メニューが完成し、「食の新メニュー試食会」が開催されました。



食資源を活用した新メニュー

### ④自治体と連携した観光振興策

#### <筑西市>

- ・当行は筑西市と2016年5月に「筑西市の地域振興に関する協定」を締結し、同年8月「筑西市観光振興協議会」が発足し、現在まで当行役員が会長職を委嘱されています。
- ・2022年2月に「道の駅グランテラス筑西」に係る観光・食・開発・PRをメインテーマに、本市内外の大学生等から観光まちづくりに関するアイデアを募り、新しい知見やアイデアを発掘し、更にその機運を高めるため、参加型プレゼンテーションイベント「筑西まちづくりキャンパスチャレンジカップ」を同協議会が開催し、WEBでプレゼンテーション及び表彰式を開催しました。
- ・協議会会長として当行役員が出席し、Creative賞（会長賞（優勝））を贈呈しました。



当協議会会長  
渡辺営業副本部長



### ① 全国高校生金融経済クイズ選手権 「エコノミクス甲子園」 茨城大会の開催

- ・ 高校生が楽しみながら金融経済に興味を持ち、将来社会人として必要な経済知識を学ぶきっかけを提供するため、「エコノミクス甲子園」茨城大会を開催しています。
- ・ 「エコノミクス甲子園」は、平成24年より毎年開催しており、県内から多くの高校生が集結し、金融経済知識を競い合っています。
- ・ 2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、参加生徒の安全・健康面を考慮しオンライン開催としております。



エコノミクス甲子園オンラインでの様子(全国大会)

### ② 茨城県学生ビジネスプランコンテスト2021』に協力

- ・ 2021年11月に茨城大学において、『茨城県学生ビジネスプランコンテスト2021』の審査が行われました。
- ・ 茨城大学が主催する『茨城県学生ビジネスプランコンテスト』は、アントレプレナーシップを育むため、企画力及び課題発見・解決能力の育成を目的とした茨城県内で唯一学生のみ（中学生から大学生）を対象とするコンテストです。
- ・ 当行は協賛企業として審査員を務め「筑波銀行賞」の提供をしました。



表彰式の様子



## ③スポーツ事業への協力

- ・例年開催している、筑波銀行「あゆみ」杯・茨城県学童軟式野球大会はコロナ禍の影響を踏まえ、選手や関係者の安全面を優先したことで、大会を中止としました。
- ・つくば市を拠点とするバレーボールチーム「つくばユニテッド・サンガイア」への支援として、「筑波銀行ホームゲーム特別協賛」に協力いたしました。



「あゆみ」杯  
2019年決勝の様子



筑波銀行が  
特別協賛を  
しました

## ④ボランティアクラブの活動

- ・社会問題となっている女性の「生理の貧困」問題を踏まえ、「筑波銀行ボランティアクラブ」より茨城県へ生理用品を寄贈いたしました。

## ～貧困への対応～



◆贈呈式の様子  
篠原専務 茨城県 飯塚福祉担当部長

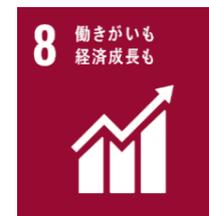


◆贈呈品サンプル  
(銀行名のシールを貼付)



◆茨城県からの感謝状

## 明るく働きがいのある職場環境の向上



### ① 中小企業向け従業員の福利厚生充実

### ～ハッピーエールサポート～

- ・当行は中小企業のお客さま向けに、2020年10月より従業員の福利厚生充実を図るパッケージ商品である「ハッピーエールサポート」の取り扱いを開始いたしました。
- ・本サービスは、金融取引、生活応援、研修・セミナーの3つのサービスから構成されており、中小企業のお客さまにとっては福利厚生サービスを取り入れることで、従業員の生活の安心と充実を図り、従業員の定着や優秀な人材の採用に繋げることが期待されます。



セミナーの  
YouTube配信

### 「ハッピーエールサポート」の3つのサービス

#### 金融取引サービス

- ・ライフイベントに対応した個人ローンを特別金利でご案内（ハッピーエール専用フリーローン、マイカーローン、教育ローン）
- ・住宅ローン 特別金利＋自然災害時返済一部免除特約付帯特典あり
- ・ATM利用手数料割引
- ・職域セミナー・出張相談の開催

#### 生活応援サービス

- ・ハッピーエールサポート会員証の提示で、飲食店や旅行・レジャー施設等の提携店で優待が受けられる
- ・専用サイトにて日常生活での様々なニーズに役立つ施設や店舗をご紹介

#### 研修・セミナーサービス

- <下記セミナーのYouTube配信> ※一部DVD貸出
- ・ビジネスに関するセミナー
  - ・暮らしに役立つセミナー

ハッピーエール  
サポート



パスポートブック（左）  
会員証（右）

『ハッピーエールサポート』  
サポーター：つくしちゃん

# 明るく働きがいのある職場環境の向上

## ～女性が活躍できる職場環境の確立～

5 ジェンダー平等を  
実現しよう8 働きがいも  
経済成長も

### ② 子育てママミーティングの開催

- 「子育てママミーティング」を育休中や職場復帰したママ行員の情報共有の場として定期的を開催し、子育て中の悩みや、ママと子どもの健康面、保育園の手続きについての情報交換などを積極的に実施しております。コロナ禍の影響により本年度はZOOMを活用したオンラインで開催いたしました。

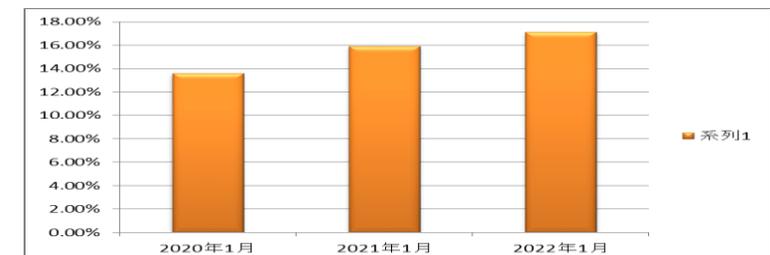


オンラインでの子育てママミーティング

### ③ 女性の活躍応援プラン

- 当行は「女性が活躍する職場」を目指し、「働きやすい職場」「働きがいのある職場」を実現するプランを推進しており、育児・介護の両立支援やキャリアアップ支援の具体的な施策で女性の活躍を積極的にサポートする環境を整備しております。

女性役 席者 比率	2020年3月	2021年3月	2022年3月
	13.6%	15.9%	17.1%



# ESG金融の推進拡大（ソーシャル関連）

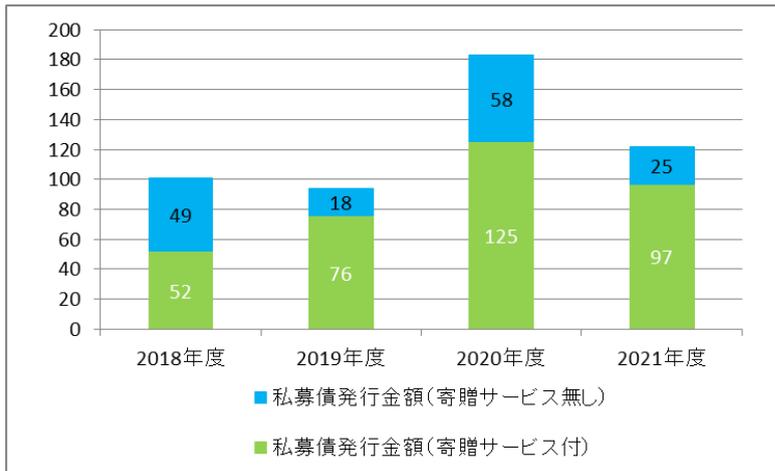
## ～SDGs私募債を通じた地域応援への取り組み～



### ① 寄贈サービス付SDGs私募債『地域の未来応援債』の取り組み

金額

(単位：百万円)



私募債発行企業さま

発行企業さまと寄贈先の意向を反映

筑波銀行

これまでの寄贈品の一例

- AI顔認証サーモカメラ
  - 液晶テレビ
  - 3Dプリンター
  - 図書
  - 遊具セット
  - 空気清浄器
  - プロジェクター
  - デジタルカメラ
  - スポーツ用品
  - 車椅子 等
- 贈呈先のご要望に応じ寄贈

7,000万円を超える寄付・寄贈を地域の自治体・学校・幼稚園等にお送りできました。

大学・高等学校



地元小中学校



幼稚園保育所

医療機関等



地方自治体



社会貢献に対する皆さまの想いを地域にお届けし、地域の未来につながっています。

## 4. 責任ある事業の推進に向けて

私たちは、コンプライアンスの徹底やガバナンス体制の整備を進め、持続可能な責任ある事業の推進体制の整備を進めます。

### 4.1 コンプライアンスの徹底

### 4.2 持続的成長に向けたガバナンス体制

地域金融機関として、お客さまから信頼され、なくてはならない銀行となるためにはコンプライアンスの徹底は最重要課題ととらえています。また持続的な成長・企業価値の向上を目指してガバナンス体制を引き続き強化してまいります。



# 持続的成長に向けたガバナンス体制

## ～SDGsについての醸成・広報活動～



### ① SDGsセミナーの開催

- ・ 当行は、茨城県中小企業団体中央会ならびに三井住友海上火災保険株式会社と連携し、中小企業向けSDGsの最新動向やSDGsを活用したビジネスチャンス拡大の一助となるオンラインセミナーを開催いたしました。



SDGsセミナーパンフレット

### ② つくば市「社会力講座」講師対応

- ・ 当行とつくば市は「包括連携協力に関する協定」を締結し、協力して地域活性化に向けた取り組みを行っております。
- ・ 2022年2月につくば市が【つくば市在住・在勤者向け「社会力」を発揮して様々な活動に取り組んでいる人々の事例を学ぶ『社会力講座』】を開催し、当行役員が講師として参加しております。



セミナーの様子

# III. 次期「SDGs推進プロジェクト『あゆみ』」の取り組みについて 第5次中期経営計画における筑波銀行SDGs宣言の位置づけ

誕生から10年超を経て、新たなステージへ

筑波銀行は、質の高いサービスや商品をいち早く提供していく中で、お客さまが「最初に相談したい銀行」としての存在感を確立します。

## 第5次中期経営計画 Rising Innovation 2025

『~未来への懸け橋~つながり』

第4次中計  
「選択と集中」

共通価値の  
創造

第3次中計  
「進化することへの挑戦」

第2次中計  
「いつもあなたのそばに」

第1次中計  
「MAKE HISTORY」

CONCEPT 『つながり』 に込めた想い

「選択と集中」をキーワードに展開した第4次中期経営計画における取り組みを、第5次中期経営計画へ〈つなげていく〉とともに、お客さま、地域社会、従業員との“つながり”（リレーションシップ）を強みとして、「小回り」と「質」の高いサービスを提供し続けることにより、「ビジネスモデルを深化」させ「共通価値の創造」へつなげていくことで、『ファースト・コール・バンク』の実現を目指していく。こうした私たちの姿勢、想いを込めています。

サステナビリティ



「経営理念」と「筑波銀行SDGs宣言」を両輪として「共通価値の創造」へつなげ、「サステナブル経営」への転換を図る



# SDGs推進プロジェクト『あゆみ』2022年度の取り組みについて

## 社会情勢の変化に対応するため

SDGs推進プロジェクト『あゆみ』の計画期間は2019年4月～2022年3月となっております。このたび、第5次中期経営計画のスタートに伴い、「経営理念」と「筑波銀行SDGs宣言」を両輪として「共通価値の創造」へつなげ、「サステナブル経営」への転換を図るべく、SDGs推進プロジェクト『あゆみ』の期間を延長し、積極的に対応してまいります。

## SDGs推進プロジェクト『あゆみ』概要

### ①名称

SDGs推進プロジェクト『あゆみ』  
～地域のために 未来のために～

### ②計画期間

2022年4月～2025年3月（3年間）

### ③基本方針

・2019年4月、コーポレートスローガン「地域のために 未来のために」の実現に向け、国連が定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」の趣旨に賛同し、「筑波銀行 SDGs宣言」を制定しました。

・昨今のSDGsに対する社会情勢が加速度的に変化しており、地域金融機関は、それぞれの地域社会が抱える課題を解決し、地域社会の成長を支援することをミッションとしています。筑波銀行はSDGs推進プロジェクト『あゆみ』を継続し、当行を含む地域社会の持続的成長に向けて取り組んでまいります。





筑波銀行